

羅臼湖地区における取組の進捗状況

1. 平成24年7月に羅臼湖部会を開催し、携帯トイレブースの設置試験、歩道の維持管理体制、羅臼湖利用のルール等について検討を進めた。
2. 釧路自然環境事務所、根釧東部森林管理署、根室振興局、釧路開発建設部による歩道の付替え・改修工事及びバス停の設置工事が開始されている。

1. 平成24年度第1回羅臼湖部会の開催結果

- 携帯トイレブースの設置試験を行うことを決定し、7～8月にかけて、約1か月間の設置試験を実施した。
- 次年度以降の維持管理体制については「知床世界遺産施設等運営協議会」に「羅臼湖歩道維持管理委員会」を設置し、維持管理を担うこととした。維持管理委員会は羅臼湖部会の構成員で構成することを想定。
- 羅臼湖部会は今年度中に解散することを想定しているが、次年度以降にも継続して議論すべき課題が残る場合は、羅臼湖部会も継続することとした。
- 長靴の着用、植物や動物への配慮、ヒグマ対策や安全管理、歩道までのアクセス等を盛り込んだ利用のルールについて検討を行った。今後、会議での指摘事項も踏まえ関係団体等と詳細を検討する。
- 羅臼湖地域の魅力の維持・向上のため、二の沼付近への新たな枝道の設定について、9月に現地踏査を実施し具体的なルートを検討した。

2. 歩道付替え・改修工事

- 根釧東部森林管理署が新規入口から涸れ沢付近までの整備、釧路自然環境事務所が涸れ沢付近から羅臼湖までの撤去と整備、根室振興局が入口から涸れ沢付近までの撤去をそれぞれ担当し、工事を進めている。
- 平成24年度中に新規入口から四の沼までの付替え・改修工事が終了する予定。

3. 今後の予定

- 平成24年度の第2回羅臼湖部会について、年内をめどに開催し、維持管理体制や利用のルール等について引き続き検討を進める。
- 平成24年度中に羅臼湖歩道維持管理委員会の立ち上げを行う。
- バス停工事は今年度中に終了し、バス停の移設手続きも完了する予定であるため、平成25年度から新規入口の供用を開始する。
- 引き続き平成25年度以降も歩道の付替え・改修工事及び撤去工事を進める。